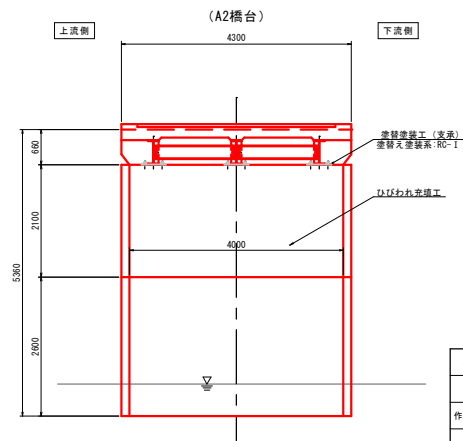
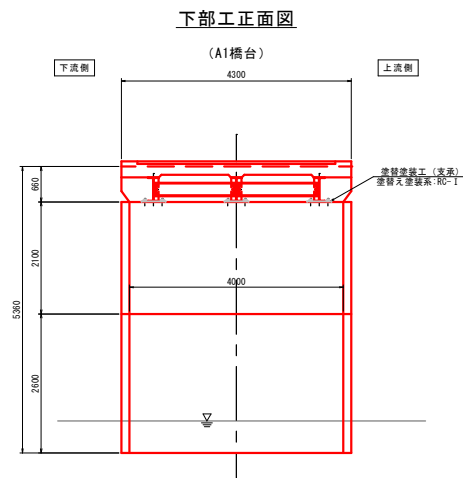
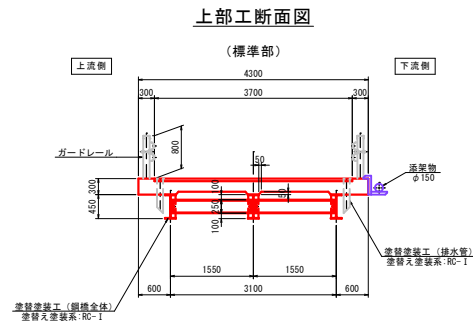
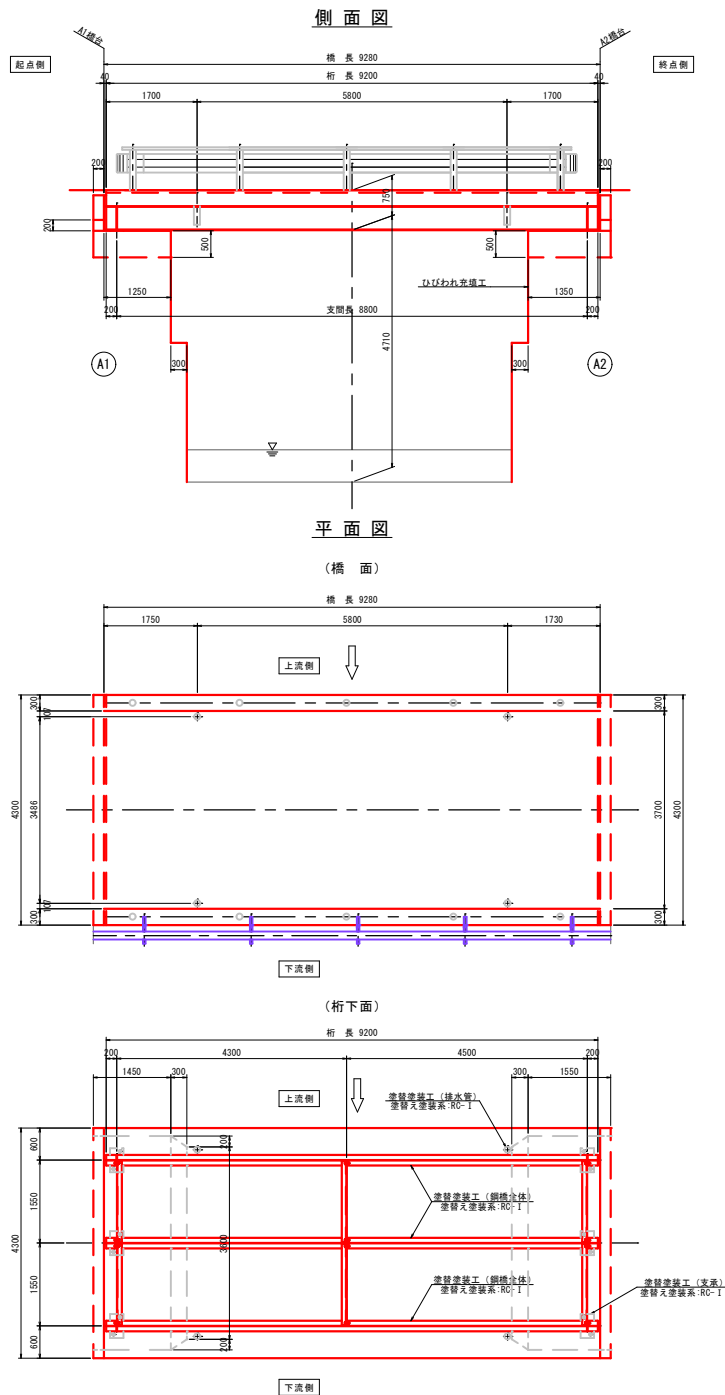


寺橋 補修対策工一般図

S=1:50



工事名	市道納丸線（寺橋）橋梁補修工事		
図面名	寺橋 補修対策工一般図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	1 / 5
会社名			
事業者名	庄原市		

寺橋 補修図（その1）

S=1.30

ひびわれ補修工

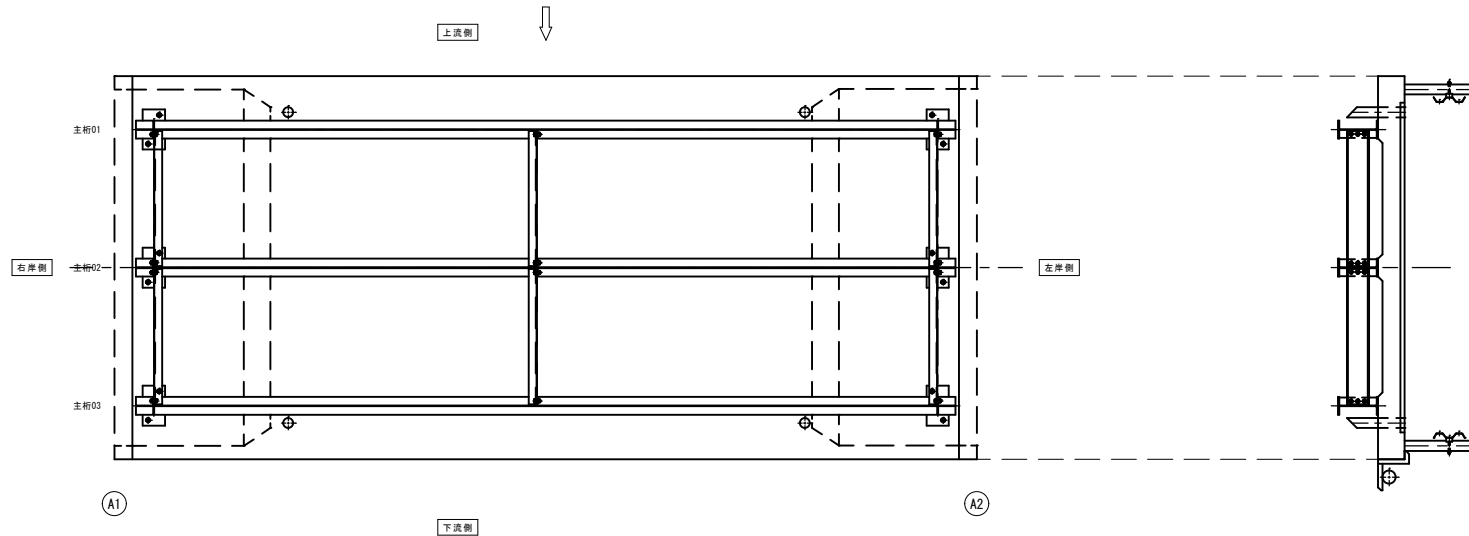
凡 例

	幅・長さ (m) (m)	△ ひびわれ充填工法
--	-----------------	------------

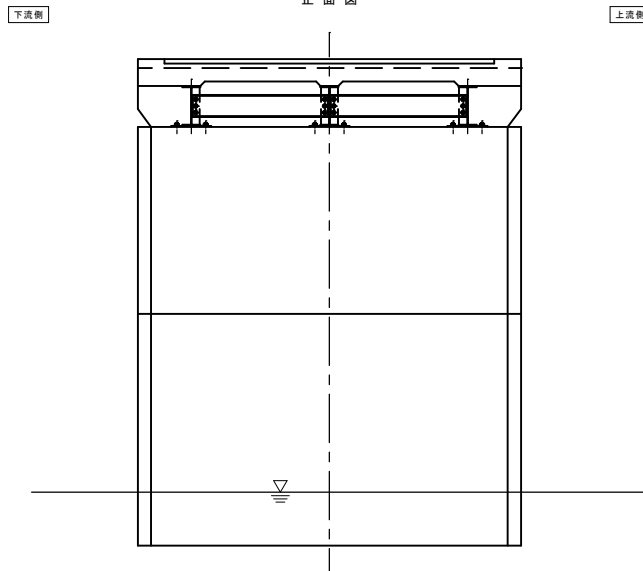
特記事項

1. 補修範囲については、施工状況を確認しながら適時変更して決定すること。

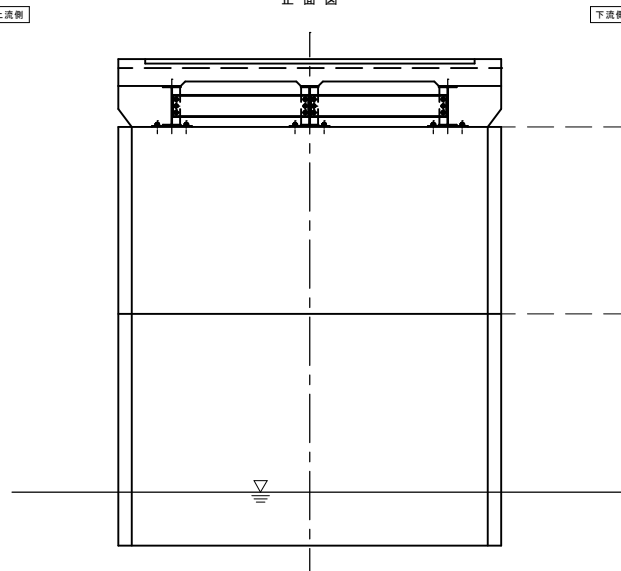
平面図
(床版下面)



A1橋台
正面図



A2橋台
正面図



側面図

W=3.0 L=2.2

W=5.0 L=2.4

工事名	市道納丸線（寺橋）橋梁補修工事		
図面名	寺橋 補修図（ 1 / 3 ）		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	庄原市		

塗替塗装工

塗替塗装工

(床版下面)

(床版下面)

桁 長 9200



$S=1:5$

正面图



S=1:5



上部工断面図



下流側

(Rc-I 塗装系)



アースコート防錆相当品（はけ・ローラー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	塗膜剥離剤＋動力工具 (2種ケレン相当)		5分以上 24時間以内
防食下地	EARTH COAT防錆前処理剤 (全面塗布)	40	4時間～10日
下塗 (1)	EARTH COAT防錆塗料	100	16時間～10日
下塗 (2)	EARTH COAT防錆塗料	100	16時間～10日
中塗	EARTH COAT中塗F	140	16時間以上
上塗	EARTH COAT上塗F	120	

注意事項

- ※ 塗装替え全般
 - ※ 塗装替え装置はRo-I 装置とする。
 - ※ 現地再塗の、施工を行うこと。
 - ※ 廃棄廃棄物および周近を汚さないように十分注意するとともに、その廃棄は適切に行うこと。
 - ※ 装置に油が含みすぎているため、塗装替え作業中および廃棄物の処理については、環境法に基づき適切に対応すること。
 - ※ 廃油調整後に新式廃油が確認されれば場合は、別途対策を検討すること。
- ※ 廃油調整
 - ※ 廃油調整は塗料化学等の状態により、日々の状況で施設設備を異なるため、事前に試験設備を行い施設設備を確認するとともに、色々の施工量を決定すること。
 - ※ 既設塗料の除去（廃油調整）は、塗料調整装置に動力工法（2種クレーン相当）など。
 - ※ 廃油調整の不良は、新式装置の劣化要因となるため、確実に旧塗装及び漆を除去すること。
- ※ 塗装替え
 - ※ 塗膜厚のばらつきを極力少なくするよう、塗膜厚の管理を行うこと。
- ※ 足場、防護工
 - ※ 足場、防護工には、作業員の墮落、資材や工具の落下、旧塗装、塗装替え塗料および制膜剤の飛散を防止する作業設備を付けること。
（仮張り防護工、シート防護工）
 - ※ 足場解体時等に塗膜損傷が生じた場合は、補修塗装を行うこと。

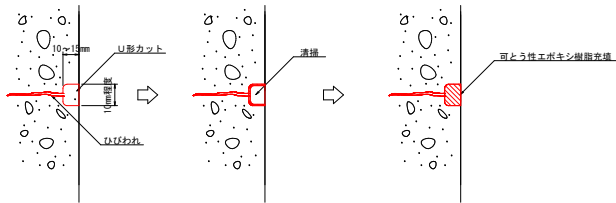
工事名	市道納丸線（寺橋）橋梁修繕工事		
図面名	寺橋 修繕図（２／３）		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	３ / ５
会社名			
事業者名	庄原市		

注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や酸及び補修材料が、河川内や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

寺橋 補修図（その3）
補修要領図

S-1/50

ひびわれ充填工（参考図）



作業開始
損傷調査
U形カット
清掃
充填材
作業終了

工事名	市道納丸線（寺橋）橋梁補修工事			
図面名	寺橋 補修図（ 3 / 3 ）			
作成年月日				
縮尺	図 示	図面番号	4	/ 5
会社名				
事業者名	庄原市			

(上・下部工施工時)



工事名	市道納丸線（寺橋）橋架修繕工事		
図面名	寺橋 仮設参考図（上：下部施工時）		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	5 / 5
会社名			
重責者名	佐藤 市		

注) 1. 粉塵等の飛散や騒音対策、補修材が河川内へ流出するのを防ぐため、振張り防護及びシート張り防護を設置し、十分な養生を行うこと。
2. 施工時には、事前に発注者及び河川管理者と河川条件や仮設方法について協議、確認のうえ実施されたい。